

JForest

森林組合だより

平成27年 6月30日

発行

第 104 号



第21回 通常総代会

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

第21回 本荘由利森林組合通常総代会 開催

平成27年5月29日（金）午後1時30分よりホテルアイリスを会場に、第21回通常総代会を開催しました。

小松組合長の挨拶に続いて、渋谷県議会議員様、由利地域振興局長様（代理）、にかほ市長様、小田県議会議員様、農林中央金庫秋田支店長様、秋田県森林組合連合会代表理事会長様（代理）から御祝辞をいただきました。議長には大内地区総代の中村勝男氏が選任され議事が進行されました。

ご挨拶

代表理事組合長 小松 佳和

本日、第21回本荘由利森林組合通常総代会を開催するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

例年になく雪の少ない冬が去り、木々の息吹が感じられるこのごろ、由利の山野は深緑の装いに姿を替えております。

鳥海山を中心とした一面の森林は、命の源となる水を供給し、あまたの動植物を育み、ここに我々人間の生活を支えております。

戦後、荒廃した山林を復活させようとスギを植え、高度経済成長期に託した夢が、いまだ叶えられない現実があります。

そうした中、国では、豊かな森林資源の循環利用と、地球温暖化防止対策としての間伐や作業道開設などにより、林業の成長産業化を実現しようと、各種施策を推進しております。

森林組合系統でも、増産が見込まれる国産材の利用拡大を目指して、様々な事業展開しておりますが、昨年10月には、大局的見地に立ち、



全国木材組合連合会との連携による「ウッドファースト社会」の実現に向け行動宣言をしたところです。

「木材利用の拡大なくして森林・林業の活性化は成しえない」との認識のもと、木材から非木材への流れを変え、木材を優先して活用する社会を実現しようとするものです。

当組合でも、この2、3年で整備しました製材機械や木材乾燥機、高性能林業機械等を活用して、スギ素材の増産や、JAS工場としての緻密な製品づくりに努め、公共建築物への資材供給など、地域産材の生産・加工・販売強化に努めてまいります。近年は、木質バイオマスとCLT（直交集成板）に話題が集まってお

りますが、CLTについては、許認可の問題や生産工場の不足など、普及までにはもう少し時間が必要のようです。

バイオマス関連では、秋田市に2万キロワットの木質バイオマス発電所が、来年稼働する計画です。10万tの木材が必要とのことですが、集材圏内に入る当組合としても協力体制を取りながら、素材生産に当たらなければならないと考えております。

新たな事業展開としましては、組合員の皆様のご協力をいただき樹立しました森林経営計画を基本として、昨年度からは両市の所有林の管理委託業務も行うこととなりました。

所有者の区分なく、一体的な森林管理を行うことの重要性を認識いただき、管理を任せていただいた責任を感じながら、将来とも緑溢れる多様性豊かな山林を造成してまいります。

今年度秋田県では、地方創生交付金を活用した秋田スギ循環利用促進モデル事業として、皆伐再造林（皆伐から造林・下刈りまで）の一貫作業に対する助成を実施する計画であります。

持続可能な林業経営を確立するためにも、いま必須の事業として、取り組んでまいり所存です。

今年度も役員一体となり、年度計画の達成に向けて頑張つてまいりますので、関係各位のご指導、ご教示賜りますようお願い申し上げます。

来賓ご芳名（順不同）

県議会議員 渋谷 正 敏 様

由利地域振興局長 櫻田 良 弘 様

代理 農林部長

にかほ市長 横山 忠 長 様

県議会議員 小田 美恵子 様

県議会議員 三浦 英 一 様

県議会議員 加藤 鉦 一 様

農林中央金庫秋田支店長 山本 興一郎 様

秋田県森林組合連合会 代表理事会長

代理 代表理事専務 福井 敬 二 様

由利森林管理署長 小野 義 秀 様

にかほ市議会議員 菊地 衛 様

森林整備センター 秋田水源林整備事務所長 神尾 則 好 様

由利本荘市長 代理 農山漁村振興課長 松 永 剛 様

農林部森づくり推進課長 原田 久 夫 様

来賓祝辞

来賓祝辞といたしまして、県議会議長渋谷正敏様から「先日新聞で、2014年度の県森連の原木販売数量と販売額が過去最高となったという嬉しいニュースを見ました。県産材の需要拡大など、業界を取り巻く環境が好転に向いていると感じています。」

政府では、地方創生の中で、林業の成長産業化を唱えていることから、将来に向け林業には



明るいものがあると思っております。また、やる気のある事業体には積極的に応援するとしており、今後は各組合の力量が問われる事になります。

秋田県人に

は「気概」が足りないと言われていますが、今後とも、林業に携わる若手が育つよう、人材の育成も含めて、気概を持って組合一丸となって頑張っていたきたいと思います。」と力強いお祝いのお言葉をいただきました。

また、由利
地域振興局農
林部長 櫻田
良弘様、にか



ほ市長 横山忠長様、県議会議員
小田美恵子様、農林中央金庫秋
田支店長 山本興一郎様、秋田県

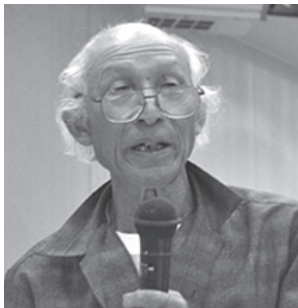
森林組合連合会代表理事専務 福
井敬二様からお祝いのお言葉をい
ただきました。

質疑応答

【象潟地区 齋藤氏】

Q、運営の基本方針の中の「ウッドファースト社会」とは、どのようなことを意味するのでしょうか。

A、昨年の10月に、生産者側である全国森林組合連合会長と消費者側である全国木材組合連合会長の間で、「木材を優先して活用していく社会の実現」を目指すための行動宣言を取り交わされた。木材を積極的に使いながら林業や山村の活性化を図ろうとするものである。



【本荘地区 畠山氏】

Q、林業においては、長い目で見た後継者や技術者の育成が大事であるが、森林組合で取り組んでいる現状についてお聞かせ願いたい。

A、近年は、毎年数名ずつ林業技能者を採用しているが、組合の通常業務を通じて、様々な技術を指導しているほか、県森連が主体で実施する緑の雇用事業で機械の操作や林業情勢について研修を通じて技術の習得に努めている。

また、今年度は由利本荘市からの委託を受けて4名の人材育成事業に取り組んでいる。期間は1年であるので、各企業体への就労のためのステップとして、基礎的な技術を中心に指導することとしている。



議案審議

議案第1号から議案第9号及び付帯決議までの審議が行われ、全議案満場一致で決議されました。

【第21回 通常総代会提出議案】

- 第1号 平成26年度業務報告書の承認について
 - 第2号 平成27年度事業計画の設定について
 - 第3号 平成27年度賦課金の徴収について
 - 第4号 平成27年度役員報酬について
 - 第5号 借入金の最高限度について
 - 第6号 債務保証の最高限度について
 - 第7号 余裕金の預入先について
 - 第8号 定款の一部改正について
 - 第9号 定款付属書森林組合役員選挙規程の一部改正について
- 付帯決議1、2

《出席者集計》

- ◎総代定数……300名
- ◎総代現在数…289名
- ◎出席者数……229名
(内訳)
- 本人出席……164名
- 委任出席……1名
- 書面議決……64名
- ◎出席率……79%

平成27年度 造林補助事業について

1. 今年度の当管内森林整備予算

今年度の当管内森林整備予算は約369百万円（補助金額）となっております。

今年度も昨年度同様に組合員のご理解を得ながら森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。

注）採択要件が変更されております。採択されない場合もありますので作業前に必ずご連絡ください。

2. 補助金を受けるための条件

下記の補助金を受けるためには、「森林経営計画の認定」が必要となります。

※1 施行地 0.10ha 以上の実施が必要です。

3. 平成27年度 造林補助事業種別補助金額（森林環境保全直接支援事業）

作業種		対象林齢	採択要件・留意事項等	補助金額（1ha当り）		備考
				組合作業	所有者作業	
植栽	スギ	—	・区分（スギ）①植栽本数 1,500～1,799本 （スギ）②植栽本数 1,800～2,099本 （スギ、マツ）③植栽本数 2,100～2,499本 （スギ、マツ）④植栽本数 2,500～3,000本 ・枯損率 20%未満 ・再造林、拡大造林の区分無し ・広葉樹A：苗高 50cm以上 ・広葉樹B：苗高 100cm以上 ・広葉樹C：苗高 150cm以上	602,000 ～812,000	481,000 ～648,000	※普通苗
	マツ			519,000 ～571,000	414,000 ～456,000	
	広葉樹A			1,121,000 ～1,305,000	895,000 ～1,041,000	
	広葉樹B			1,726,000 ～2,040,000	1,377,000 ～1,629,000	
	広葉樹C			2,537,000 ～3,028,000	2,025,000 ～2,417,000	
下刈		単層林：1～7年生 複層林：1～25年生	・1年生、2年生～、2回刈の区分無し	106,000	85,000	
雪起こし		2～15年生	・雪圧倒伏率30%（6年以上は50%）以上で採択 ・区域面積×被害率＝実施面積で申請	108,000	86,000	
枝打ち		11～30年生	・仕上げ幅 2.0m未満（若齢木） 又は2.0m以上6.0m以下 ・実施本数 100本～2,500本/ha	40,000 ～147,000	32,000 ～117,000	
除伐（刈払）		11～25年生 天然林は40年生まで	・刈払率 100%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	88,000	70,000	
保育間伐		35年生以下又は伐採対象木の 平均胸高直径18cm未満	・伐採本数率 20%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	57,000 ～93,000	46,000 ～74,000	
間伐		11～100年生	・伐採本数率 20%以上 ・伐採材積率35%以下 ・標準単価 10m³～80m³/haで10m³刻み	124,000 ～358,000	99,000 ～285,000	
更新伐		11～90年生	・伐採本数率 56%以上 ・2年経過後、更新完了の確認必要	72,000 ～682,000	57,000 ～544,000	
間伐・更新伐 共通			・5ha以上の集約化かつ10m³/ha以上の搬出必要 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと ・材積が確認できる納品伝票等、はい積み状況写真必要 ・間伐と更新伐あわせて5ha以上で申請可			
森林作業道		上記の作業に係わる 作業道の開設	・土構造を基本とし、繰り返しの使用に耐えるもの ・幅員（2.0/2.5/3.0）m × 地山勾配で区分 ・最急縦断勾配 30%（11.9°）/100m以内 ・出来形管理、写真管理、台帳整備必要 ※路網密度150m/ha以下	556 ～1,559	444 ～1,245	m当



森づくりのワンポイント

第1回

平成27年度は、間伐などの森づくりをするうえで、知っておくと便利な事柄を"森づくりのワンポイント"として5回にわたって連載する予定ですので、ご活用ください。

1回目は、スギ林分の健全度についてお知らせいたします。

スギ林分の健全度と適正本数

★スギ林分の健全度を知る尺度の一つに"形状比"があります。

特に、当地域のような積雪地帯では、形状比は70程度を保つ必要があります。

形状比80以上の林分は風・雪害等に対して抵抗性が低くなります。

＊ 健全度：風や雪に強いかな、適正な成立本数かなかなど

形状比：形状比＝樹高(m)÷胸高直径(m)

<for.1> 平均樹高14m、平均胸高直径20cmの場合の林分の形状比は70

・ 樹高14(m)÷胸高直径0.2(m)＝形状比70



★今回は、スギ林分の健全度を知るもう一つの尺度として、「胸高断面積計」をご紹介します。

「胸高断面積計」とは、林分の胸高断面積の総計のこと。

積雪地帯では、1haあたり45㎡～50㎡程度が健全度が高いといわれています。

(50㎡以上は混みすぎ)

<for.2> 20m×20m(400㎡)の標準地内に平均胸高直径が25cmのスギが38本ある場合の胸高断面積計は

・ 直径25cmのスギ1本の胸高断面積は、約0.05㎡となりますので、
1haあたりの胸高断面積は、0.05×38×25倍(1ha換算)＝47.5㎡となります。
また、この林分の成立本数は950本/haですので、逆に、この林分の適正本数の目安となります。

<for.3> 標準地内の平均胸高直径が30cmの場合、胸高断面積計を50㎡の林分に仕立てる場合の1haあたりの適正本数は

・ 胸高直径が30cmのスギの断面積は、0.07㎡ですので、この林分の適正本数は、50㎡÷0.07㎡≒720本/ha程度となります。

★胸高断面積計に基づく、成立本数は林分の樹高に影響を及ぼす地位(土壌の良し、悪し)に関係なく、その林分の適正本数を知る手掛かりとなります。

★このように、胸高断面積計は、健全度のほかに、適正な仕立て本数を知る目安にもなるので、「形状比」に加え「胸高断面積計」の両しかりで、森づくりをすることをおすすめします。

木材市況情報 (平成27年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

			4 月 6 日			5 月 7 日		
樹 種	材 長 m	径 級 cm	本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格
ス ギ	3.65	16～22	(3, 386) 12, 190	(2, 997) 10, 790	(3, 126) 11, 256	(3, 078) 11, 079	(2, 800) 10, 079	(2, 986) 10, 750
		24～34	(3, 849) 13, 857	(3, 334) 12, 004	(3, 484) 12, 541	(3, 500) 12, 599	(3, 139) 11, 301	(3, 450) 12, 419
出材量・販売量・販売率			727m ³ (2,617石)・727m ³ (2,617石) 100%			939m ³ (3,380石)・589m ³ (2,120石) 63%		
4 月：常連に加え、横手の業者も参加し、完売。厳しい製品市場ではあるが相変わらず引き合いは強い。 5 月：約6割の売れ行き。全般に単価は弱含みで製品市場の悪さを裏付けた結果となった。								



齊藤 鍊

- 本所造林班
- 由利本荘市



原田 智和

- 本所造林班
- にかほ市



加藤 有佑

- 本所造林班
- 由利本荘市

新採用 職員紹介

4月1日付で新しく7名の
新人が仲間入りしました。



高橋 和弘

- 本所造林班
- 由利本荘市



猪股 尚弥

- 本所造林班
- 由利本荘市



小川 彰典

- 本所造林班
- 由利本荘市



植野 雄一

- 本所造林班
- 由利本荘市

退職者のお知らせ

加工課長 三 浦 弘 文
嘱 託 佐 藤 洋 子

地域林業と森林組合発展のために頑張っていた
きました。永い間大変お疲れ様でした。

総務課よりお知らせ ～賦課金納付のお知らせ～

賦課金納付期限は7月31日(金)となっており
ます。納付は、組合本所・支所及び下記の
管内金融機関へ納入下さいますようお願いし
ます。なお、秋田しんせい農協では手数料が
かかりません。

【取扱金融機関】

秋田銀行管内各支店／北都銀行管内各支店
／羽後信用金庫本店・各支店／山形銀行本
荘支店／きらやか銀行本荘支店／秋田しん
せい農業協同組合各支店

第49回 秋田県林業経営コンクール及び 間伐功労者 表彰

平成27年6月5日(金)一般社団法人「秋田県森と水の協会」主
催の表彰式が行われました。受賞誠にありがとうございます。

今後のさらなるご活躍をご期待申し上げます。

功労の部 間伐推進の部
秋田県知事感謝状



九日町 部落

優秀賞 林業経営の部
秋田県森林組合連合会長賞



鈴木 利一 氏